

ほっぷ
すてっぷ

じゃ JAんぷ

2022

10

Vol.284

特集

3年ぶりのフェアも開催!!
JAいわて中央の販売



地元のブランド 歴史ある津志田芋

「食農立国JAいわて中央」を支える生産者の思いをつなぐコーナー

300年以上続く
伝統の里芋
生産支える農家の努力

すっきりとした秋晴れが心地良い9月下旬、盛岡市津志田の野田地区では、特産の里芋「津志田芋」の収穫が始まっていた。

独特の柔らかさや粘りが好評の津志田芋は「昔、南部の殿様が好んで食していた」との言い伝えや、歌人・石川啄木が「恋しきは今も昔も津志田の芋の子の味」と詠ったほど、古くから愛されている伝統野菜だ。

勤め先を定年退職後、家族とともに津志田芋や米などの栽培に取り組んでいる鈴木一吉さん。「農地を荒らさな



1. 10aの畑で津志田芋を栽培する一吉さん。掘り起こした津志田芋を見つめながら「栽培には毎年苦労していますが、私にとって芋の子の成長が一番の楽しみです」笑みを浮かべる
2. 収穫は芋堀機を装着したトラクターで行い、芋がついた株ごと掘り起こしていく
3. 収穫後、約2～3日乾燥させた津志田芋は、出荷規格ごとに選別する前に一つひとつ丁寧に毛根や芽を取っていく
4. 芋の子汁やみそ汁に入れると、とろけるような食感が絶品の津志田芋。小さめの芋は、茹でて大根おろしとしょうゆなどであえた「むき芋」がおすすめだ



いことももちろんですが、この地域に与えられた自然の恵みを大切に受け継いでいかなければと思っています。そう一吉さんが「この地域の恵み」と語るのが、同地区の津志田芋生産の基盤となる黒土の土壌だ。肥沃で排水性に優れた黒土は、適度な降雨が必要な津志田芋の栽培に適しており、この豊富な資源を活かして、地域の特産品として長年栽培されてきたのだ。

9月下旬から11月下旬にかけて市場に流通する津志田芋は、収穫した里芋を全て出荷するのではなく、頭芋と呼ばれる部分について小頭、さらにそこから生まれる孫芋の部分を主に出荷するため、他の里芋より遅く収穫が始まるのが特徴だ。2m程に伸びた茎と傘のように大きな葉を一つひとつ鎌で刈る作業や収穫後の毛根取り作業など、機械化が難しい津志田芋の生産は労力を要するが、一吉さんは「手間は掛かりますが、おいしさを良い状態でお届けできるように、がんばっています」と優しく笑う。



生産の維持でブランドを盛り上げて

平成18年に盛岡市の特産ブランドに認証された津志田芋は、現在は県内外で販売され、管内では「芋の子会」や「芋煮会」といった名称で、地域や職場単位でも親しまれている。

その一方で、一吉さんも所属し津志田芋の生産に取り組んでいる野田青果物出荷組

合の組合員数は、ブランド化当初の半数以下となるなど、生産者の減少が課題となっている。一吉さんは「ブランドとしてさらに盛り上げていくためにも、収量の維持と生産者の確保は必要不可欠」と話しながら、「厳しい状況ではありますが、恵まれたこの地域の魅力を活かして、消費者に喜ばれる、おいしい津志田芋を今後も作っていきたいです」と意気込みを見せている。

今月の表紙

すずき かずよし
鈴木 一吉さん (72)

盛岡市津志田で津志田芋や米、野菜を栽培する農家。趣味は登山や音楽など、色々なことに興味を持つこと



目次 CONTENTS

| | |
|--|----|
| 未来へつなぐ食農立国 | 2 |
| 鈴木 一吉さん(盛岡市) | |
| 特集 | 4 |
| 3年ぶりのフェアも開催！ JAいわて中央の販売 | |
| NewsFile | 8 |
| 全量一等でスタート！ 令和4年産米初検査 他 | |
| 営農情報 | 10 |
| 来年の水稲栽培に向けた土づくりについて 他 | |
| ファーマーズマーケット通信 vol.04 ... | 12 |
| サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！ まちのスマイル | 13 |
| インフォメーション | 15 |
| 矢巾カントリーエレベーター見学会参加者募集中！ 他 | |
| 今月のレシピ | 16 |
| 手羽元とサツマイモの甘辛煮 | |

特集

3年ぶりのフェアも開催！ JAいわて中央の販売

JAが今年度策定した第八次中期3ヵ年計画・および農業振興計画では、「食農立国」JAいわて中央”ブランドの普及拡大を重要取り組み事項として掲げ、農家組合員の所得向上に向けた販売先の確保や販路拡大、継続した安定取引のための販売先との結びつき強化などに継続して取り組んでいます。今回の特集ではJAが実践する販売の取り組みをキーワードごとに振り返り、さらに9月に広島・愛媛で開催した「食農立国おもてなしフェア」の様子も合わせてご紹介します。

キーワード

相対販売

JAが取り組む総合品目販売による農産物の相対販売は、市場の価格変動に影響されることなく当事者同士で価格を決定できるのが大きな特徴です。愛媛県松山市に本社を置く(株)フジ・リテイリングとJAは年間を通して米や野菜、果実を幅広く取り扱っており、特に同社からの要望をきっかけに平成25年から開始した管内のズッキーニ栽培は、消費者・販売先のニーズを重視して農産物を生産していくマーケットインの考え方が、着実に成果につながっています。



ポイント

“販売促進イベントの開催”



相対取引先の店頭で生産者やJA役職員らが立って農産物の魅力を直接紹介。消費者と交流を深めながらPRしています。

◀ 先月行われた販売会の様子は6~7ページへ！

キーワード

米の直接販売

平成28年産から取り組みを強化した米の直接販売は、JAと米卸売業者が直接取引を進める方法で、需要に応じた生産・販売による安定取引や流通コストの削減による農家手取りの向上を目的としています。令和3年産米においては、直接販売米がJA取扱数量全体の約4割を占め、今後は、地域単位で実需者との結びつきを強化した販売体制の構築を目指しています。

JA取扱数量（飼料用米除く）における直接販売米の割合

| | H28 | | R3 |
|---------|--------|---|--------|
| 全体 | 724,63 | → 直接販売米の 取り扱い数量は およそ 2倍 に | 700,65 |
| うち直接販売米 | 147,80 | | 322,18 |
| 割合 | 20.4% | | 46% |

単位：(袋/30kg)

ポイント

“顔の見える米づくり”



▶ 生産者に教わりながら稲刈りを進める実需担当者

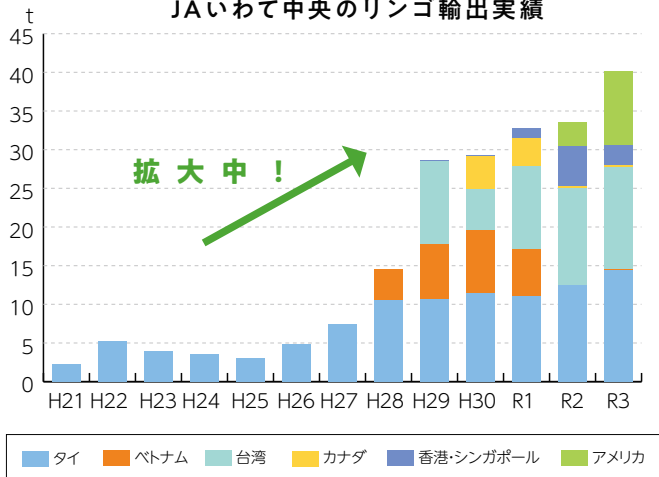
産地研修として実需（販売先）が生産者のもとで稲作作業を体験したり、生産者が販売先を訪問するなど、生産・販売が一体となった産地づくりに取り組んでいます。

キーワード

リンゴの海外輸出

JAでは平成21年より、県内JAで唯一、輸出事業に取り組んでいます。後継者の確保や農家所得の向上などを目的に取り組みを開始し、タイを皮切りに現在は7か国に展開しています。輸出単価は高品質なリンゴ品種の輸出導入などにより、開始した平成21年の307円/kgから令和3年には541円/kgに上昇し、盛岡市と連携したカナダでのトップセールスやタイで行われた商談会への出席など、管内産リンゴの魅力を世界へPRしています。

JAいわて中央のリンゴ輸出実績



ポイント

“スマートフレッシュの活用”



スマートフレッシュとは、品質低下の要因となる果実から発生するエチレングスを抑え、収穫時と同等の鮮度や品質を保ちながら長期保存を可能とする技術で、JAでは平成30年にこの処理施設を盛岡市下飯岡に建設しました。船便や空輸などの長時間にわたる輸送でも高い鮮度保持効果が期待でき、それを利用した長期販売を強みとして輸出事業を拡大してきました。

キーワード

地産地消

JAは、身近な地元消費者に管内の農業や特産農産物を知ってもらい、消費拡大を目指すことを目的に、岩手・青森・宮城を拠点に管内にも数店舗スーパーマーケットを展開する(株)ユニバースとの野菜の取り扱いに取り組んでいます。これまで、店頭での販売促進イベントも実施し、地元ではあまり馴染みがなかったズッキーニの調理法を紹介するなど、特産野菜の認知度向上も強化しています。

また、令和2年度以降は、岩手医科大学附属病院・盛岡友愛病院内の2病院へお米や青果物の食材供給にも取り組み、病院や自治体、JAが連携を取りながら、地場産食材の活用や地産地消の推進を図っています。

ポイント

“専用圃場の設置”



盛岡友愛病院では病院の目の前に専用圃場を設置し、地元米づくりへの理解促進を図りながら、米の安定供給に取り組んでいます。

PickUp!

(株)フジ・
リテイリング

食農立国 おもてなしフェア開催!

in
愛媛 広島

株式会社フジ・リテイリング

愛媛県松山市に本社を置き、四国・中国エリアを中心に95店舗のチェーンストアを展開。今年9月で創業55周年を迎え、JAでは平成12年から取引を開始し、今年22年目となる。



JAは、9月17日から19日の3日間、相対取引先である(株)フジ・リテイリングの広島・愛媛県内の7店舗で「食農立国おもてなしフェア」を開催しました。期間中は岩手県の魅力を発信する岩手まるごとおもてなし隊やいわて純情むすめ、JA職員らが店頭立ち、旬のリンゴを中心に県産ブランド米「銀河のしずく」や野菜など、管内産の農産物を広くPRしました。

愛媛県松前町のエミフルMASAKI店では、新型コロナウイルスの感染対策で中止としていたイベント企画を3年ぶりに開催。「銀河のしずく」などが当たる抽選会や、岩手まるごとお

もてなし隊によるステージパフォーマンスで買い物物に訪れた家族連れなどと交流を深めながら、会場を盛り上げました。

来店客からは「岩手のリンゴは毎年楽しみにしている」「コロナや気象条件の影響など大変なこともあるが、これからもおいしいリンゴを届けてほしい」といった産地へ向けた声が寄せられました。営農販売部販売対策課の鷹背健課長は「リンゴや県産ブランド米『銀河のしずく』を店頭で直接PRし、認知度アップを図った。今後、販売先と連携を取りながら、状況に応じた効果的な販売促進を実践していきたい」と話しました。



- ①来店客で賑わうエミフルMASAKI店のイベント会場
- ②リンゴは「さんさ」「サンつがる」「きおう」の3品種を販売。来店客に品種ごとの味の特徴やリンゴの選び方などを説明しながらPRしました。
- ③今年から「鮮度保持袋」を導入し、袋詰めしたリンゴを販売。より鮮度の良い状態でリンゴをお届けするほか、名入りの袋を使用することで「JAいわて中央産」をPRしています。
- ④フェア最終日には岩手まるごとおもてなし隊による産地紹介やステージパフォーマンスが行われました。

販売先の声



(株)フジ・リテイリング
 生鮮食品事業部
 第二商品部(青果)
 吉松 慎平 バイヤー

●今年度の早生品種の印象は？

今年のリンゴは大玉で食味も非常に良い印象です。毎年9月から始まる新物リンゴを楽しみにされているお客様も多く、実際に販売促進イベントでも多くのお客様が岩手のリンゴを購入されていました。「岩手のリンゴはいつもおいしいから買いに来たよ!」というお客様の声もあり、販売を通して岩手リンゴの魅力が中国・四国で浸透している喜びを改めて感じました。

●販売で工夫している点は？

ここ数年はコロナ禍の影響もあり店頭での試食販売ができない状況下で、「味」を直接お客様に伝えることができない中、品種別の商品POPや糖度表示、サンプルカットの陳

列、DVD放映など「目」で見て「耳」で聞いて岩手リンゴを知ってもらえるよう、訴求力の向上を図っています。

またバラ売りから袋売りまで豊富な品揃えを行い、様々なお客様のご要望に応えられるよう工夫をしています。

●産地にメッセージをお願いします!

フジ・リテイリングとJAいわて中央の取り組みがこれだけ長い間続いているのも、生産者・JAの皆様とフジとの信頼関係が強くなるからこそだと思います。これから先も、中国・四国のお客様へ岩手の魅力を伝えていけるように商品開発・商品供給・販売努力を重ねていき、認知度向上と販売拡大に繋げていきたいと思っています。



12 つくる責任
つかう責任

全量1等でスタート!

令和4年産米初検査

News File
ダイジェストを公開中!



検査の安全を願ってリンゴジュースで乾杯しました

JAは9月13日、JA赤石倉庫で県内トップを切って今年産もち米の初検査を行い、「ヒメノモチ」約29tが全量1等に格付けされました。

検査の開始にあたり、浅沼清一組合長は「順調に刈り取り作業が進み、事故無く検査最終日を迎えられようように取り組んでいただきたい」とあいさつ。JAもち米生産部会の鱒沢東人副部会長は「消費者に喜んでもらえるような米作りに励んでいる。今年も良いものが採れたのではないかと期待している」と話しました。

親子で楽しく収穫体験

12 つくる責任
つかう責任

イケパパセミナー ダイコンと枝豆の収穫



親子で協力してダイコンを収穫しました

JAは9月17日、盛岡市飯岡の農事組合法人となんの圃場で令和4年度1回目のイケパパセミナーを開きました。コロナ禍の影響を受けて2年ぶりの開催となった同セミナーには、小学生以下の子どもをもつ家族3組9人が参加しました。

参加した家族は、同法人の小苺米希実さんに栽培状況や収穫のポイントを教わりながら、ダイコンと枝豆の収穫に挑戦。参加したお父さんは「収穫体験は初めて。子どもが生き生きと作業している姿を見ることができて嬉しかった」と笑顔を見せました。

秋の全国交通安全運動に合わせ

3 すべての人に
健康と福祉を

紫波警察署へ 交通安全誓約書提出



浅沼組合長が同署を訪問し、板澤署長へ手渡しました

JAは9月20日、役職員404人が自署した交通安全誓約書を紫波警察署へ提出しました。誓約書は「ライトの早め点灯を心掛ける」など役職員一人ひとりが自筆し、交通安全を宣誓しています。

同署を訪問した浅沼清一組合長は「職員一同、人命尊重に基づき道路交通法令・規則を遵守し、安全運転、安全歩行の模範者となることを誓約する」と話し、同署の板澤裕之署長に誓約書を手渡しました。受け取った板澤署長は「交通安全意識の高さに深く感謝を申し上げる」と話しました。

1年かけて小麦の生育学ぶ



もち小麦消費者交流会 種まき作業を体験



生産者に教わりながら種まきをする参加者

JAや白石食品工業、府金製粉は10月1日、今期1回目となるもち小麦消費者交流会をJA本所南側の畑で開催し、親子8組22人が参加しました。

参加者は初めに自分の畑に設置する看板を作成した後、生産者に教わりながら自分の畑一面に小麦の種を種まき。仕上げに種を鳥に食べられないようにするため足で踏んで土に隠し、土のふかふかとした感触を楽しみながら体験を行いました。今年で5期目を迎える交流会は、麦踏み体験や生育観察など3回の体験を経て、来年7月に収穫を行います。

地産地消で地域医療を元気に！



岩手医大小川理事長が 「銀河のしずく」を稲刈り



稲刈り作業を進める小川理事長

矢巾町とJAは9月23日、矢巾町東徳田の川村誠さんの圃場で稲刈り行事を行い、岩手医科大学の小川彰理事長や同町の高橋昌造町長、盛岡広域振興局の佐々木隆局長、浅沼清一組合長が出席しました。

JAは令和2年11月から「銀河のしずく」を岩手医科大学附属病院の病院食へ提供。浅沼組合長は「地元のおいしいお米をたくさん食べて、一日でも早く回復されることを願っている」とあいさつし、小川理事長は「岩手の米はごちそう。患者さんからも大変おいしいと好評を頂いている」と話しました。



部門間連携の更なる強化へ

繁忙期の他部門応援を実施



リンゴの選果補助にあたる本所職員

JAは9月下旬から、部門間連携の一環として、本所職員がJAの米倉庫と選果場でそれぞれ作業応援を行っています。繁忙期の労働力確保や職員のスキルアップを目指すほか、職場内コミュニケーションの円滑化を図り、部門間連携の強化を目的に、今年度新たに取り組んでいるものです。

都南選果場で作業に従事した企画管理部企画課の小田島圭職員は「組合員の皆さまからお預かりした農産物がどのような行程を経て出荷されていくのかを知ることができ勉強になった」と話しています。

米穀

来年の水稻栽培に向けた 土づくりについて

今月の担当

紫波地域営農センター米穀課 中田 玲央



ここ数年、気候の変動が激しく、その影響による収量の減少や品質の低下が懸念されています。気象条件に左右されない稲づくりに目的とした土づくりを行いましょう。

1. 土づくりの方法

次の方法で地力増進と有機物の腐熟促進を目的とした土づくりを行いましょう。

① 堆肥の施用

堆肥を施用することで、根の発達促進や養水分の吸収力向上など、総合的な土づくり効果が期待できます。

② 稲わらのすき込みと腐熟促進資材の施用

稲わらのすき込みは、秋のできるだけ早い時期に行うことが効果的で、微生物

による有機物の分解が進みやすくなります。

また、腐熟促進資材【表1】を施用することで、生育阻害の原因となる有毒ガスの発生を減らす事ができます。

③ 土づくり資材の施用

ケイカル等の珪酸質資材を施用して病気や倒伏に強い稲づくりを目指しましょう。

珪酸は稲が最も多く吸収する成分で稲体の強化と品質向上のほか、病気に強くなるなどの効果があります。また、土壌改良資材【表1】は流亡が少なく秋に施用することで春作業の負担が軽減できます。

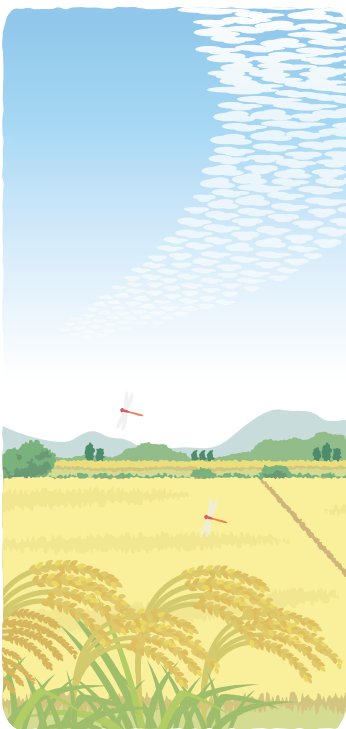
2. 秋耕起

秋のうちに耕起を行うことで、クログワイやシズイなどの多年生雑草の塊茎を

3. 農作業安全

冬に枯死させ来年の雑草の発生を減らす事ができます。また、秋耕起により稲わらの腐熟促進や透水性の確保による排水対策になります。

稲刈りなど収穫の最盛期を迎える時期は、日没が早まることから農作業事故の危険性が高くなります。ゆとりのある計画的な作業を行い、農作業事故防止を心掛けてください。



【表1】各種腐熟促進資材と土壌改良資材

| 銘柄 | 目的 | | | | 施肥量 kg/10a | 施用時期 |
|-------------|-------|------|-------|-----------------------|---------------|------|
| | 稲わら腐熟 | 珪酸補給 | リン酸補給 | その他 | | |
| ペレット状わらゴールド | ◎ | | | | 30 | 秋 |
| 鶏ちゃんパワー | ○ | | ○ | 土づくり 基肥・追肥の 代替等 | 30~45 | 秋・春 |
| ケイカル | | ◎ | | | 100~140 | 秋・春 |
| 混合りん肥新3号 | | ◎ | ○ | 微量要素 | 100~140 | 秋・春 |
| 石灰窒素 | ○ | | | | 20 | 秋 |

子牛市場情報 (令和4年9月15日・中央家畜市場)

| 地区 | 頭数 | 最高価格 | 最低価格 | 平均価格 | 平均体重 | 前月比 | 地区 | 頭数 | 最高価格 | 最低価格 | 平均価格 | 平均体重 | 前月比 |
|-------|----|---------|---------|---------|------|----------|-------|-----|---------|---------|---------|------|----------|
| 紫波 | 14 | 644,000 | 297,000 | 461,500 | 273 | -104,633 | 紫波 | 18 | 651,000 | 366,000 | 505,167 | 314 | -128,690 |
| 矢巾 | 6 | 655,000 | 389,000 | 492,500 | 279 | -86,071 | 矢巾 | 10 | 555,000 | 450,000 | 515,600 | 323 | -121,543 |
| 盛岡 | 5 | 715,000 | 345,000 | 524,000 | 278 | -44,333 | 盛岡 | 8 | 564,000 | 454,000 | 522,625 | 319 | -99,042 |
| J A 計 | 25 | 715,000 | 297,000 | 481,440 | 275 | -88,274 | J A 計 | 36 | 651,000 | 366,000 | 511,944 | 318 | -119,570 |
| 市場計 | 91 | 715,000 | 297,000 | 493,396 | 284 | -71,278 | 市場計 | 163 | 840,000 | 366,000 | 547,902 | 321 | -86,512 |

使うほどおトク!
JAでんき

10人に
1人
当たる

国産農畜産物プレゼントキャンペーン開催中!

キャンペーン期間 ▶ 令和4年7月1日(金)～令和5年3月31日(金) ※当選は賞品の発送をもってかえさせていただきます
期間中、JAでんきを新規お申し込みいただいた方から抽選で全国の農畜産物・名産品が購入できるWEBサイト「JAタウン」で使える「JAタウン」ギフトカード(5,000円相当)をプレゼント!

さらに! JAにわて中央ではうれし
全員プレゼントも実施中 | 期間中(令和4年8月1日～令和5年3月31日)にJAでんきへ新規にお切替
いただいた方に、Aコープ食品詰め合わせ(2,000円相当)をプレゼント!

JAでんきとは?

組合員の皆さまが日々ご利用されている電気の料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。切り替え簡単、JA口座をそのままご利用いただけます。電力は選ぶ時代、この機会にご自宅の電気料金見直しませんか?

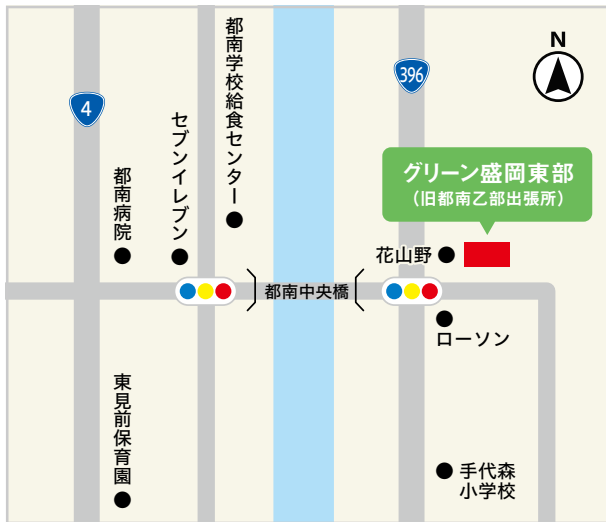


JAでんきのお申し込み・ご相談 生活推進部 燃料課 ☎697-3950

ご検討には電気料金シュミレーションがおすすめ!

好評営業中!
グリーン盛岡東部

4月にオープンしたグリーン盛岡東部は、豊富な商品を取り揃えて好評営業中です。店舗は国道396号線沿いに位置し、アクセスの良さも抜群です。組合員の皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



アクセス・お問い合わせ
グリーン盛岡東部
住所 〒020-0401 盛岡市手代森24-26
TEL 696-2344
FAX 696-3158

農業用廃プラスチック
回収のお知らせ

詳細は10月13日付の組合員文書配布でお配りする文書をご覧ください。

第1回 10/22 (土)

時間 9:00～12:00 / 13:00～15:00
回収場所 グリーンセンター矢巾 ☎697-9021
グリーンセンター盛岡 ☎659-0092

第2回 11/5 (土)

時間 9:00～12:00 / 13:00～15:00
回収場所 グリーンセンター紫波 ☎676-5081
グリーンセンター都南 ☎637-7400

回収できるもの
●ポリエチレン類
ハウス張替ビニール(PO)・
ポリエチレンフィルム(マ
ルチなど)・肥料袋・育苗
箱・牧草用ラップ など
●塩化ビニール類
ハウス張替ビニール(塩
化ビニール)・トンネル用
ビニールのうち「農ビ」と
印刷されている物 など
※リサイクルできない汚れ、劣化のあるものは今回は
受付致しかねます。

処理料 1kg……………53円(税込概算価格)
※処理料は口座引き落としさせていただきます。当日の現金でのお支払いはご遠慮願います。

お問い合わせ 営農販売部生産資材課 ☎676-7486



県内有数の果樹産地である「フルーツの里」紫波町。なかでも盛んに果樹生産が行われている赤沢地区で、約40年以上にわたり親しまれているのが「産直センターあかさわ」です。

「町の特産であるブドウやリンゴを、旬の一番おいしい時期に味わってほしいです」。そう話すのは、同産直副組合長の山田英夫さん。運営する赤沢果樹生産組合の組合員数は101人で、メンバーには新規就農者や地域の女性組織の部員なども所属し、30代から80代の幅広い年代で協力しながら生産や販売を行っています。

収穫の秋を迎えたこの時期、店内にはブドウやリンゴをはじめ、梨や桃などが種類豊富に並びます。山田

さんは「赤沢は、赤土の土壌と日当たりの良い傾斜地があり、果樹を生産するのに恵まれた場所だと感じます」と魅力を話しながら「今の時期が一番の勝負時。スタツプも増員して、旬の味覚をPRしています」と意気込みを見せます。その他、産直では週に一度、売り場の場所を変えるなど、販売方法にも工夫を凝らしています。

遠く離れた関東から毎年ブドウを購入しに訪れる人もいるなど、県内外からたくさんのお客様が集う同産直。山田さんは「お客さんの声はとても嬉しく、生産者のやりがいにつながっています。赤沢の地で育った自慢の味をぜひ一度、

今回ご紹介する産直

紫波町・遠山

産直センター あかさわ

〒028-3535
紫波町遠山字松原7-1
☎ 019-676-5201

【営業時間】 8:30~17:00(年中無休)
【休館日】 年末年始
(12月31日~1月3日)



「味わっていたいただきたいです」と話しています。



オススメ商品

リンゴ・ブドウ

8~10月末にかけて約20品種以上並ぶブドウは産直の定番商品。リンゴは毎年11・12月に贈答フェアも開催し、大きな箱にたくさん入った完熟リンゴは長く楽しめると大人気です。



サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!



ぶどうまつりも引き続き開催中ですので、のぞいてみてくださいね!



小枝店長

サン・フレッシュ都南

| | |
|------|------------------------------|
| 住所 | 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡21-180 |
| TEL | 019-637-6801 |
| 営業時間 | 9:00~18:00 |

Twitter



今月は 秋野菜

本格的な秋が到来し、店内では野菜から果物まで、たくさんの秋の食材を取り揃えています。なかでも、これからの時期出荷が増えるのが大根や白菜などの大型野菜。煮物やスープ、お鍋などに大活躍の野菜は、家庭に常備しておきたい食材の一つです。また、10月29日・30日には「新米まつり」として新米のプレゼントなども予定しておりますので、旬の味覚を探しにぜひ当店をご利用ください。

イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

新米まつり 10月29日(土)・30日(日)



まち の スマイル

Vol. 13

矢巾町・太田

守田 卓也さん(43)・真優さん(35)のお宅

上から

もりた かな ゆいな あきと
守田 環奈ちゃん(11)・結奈ちゃん(7)・暁人くん(6)

間近に控えた町の陸上記録会に向けて、走り高跳びの練習をがんばっているという長女の環奈ちゃんと、将来の夢について「美容師さんになって髪を切ったりみんなをきれいにしたい!」とこりこり話す次女の結奈ちゃん。今年の春小学校に入学した暁人くんは食べるのが大好きで、「ラジコンで遊んだりお父さんとサッカーをするのが楽しい!」と元気いっぱい話します。

撮影を見守っていた家族は「姉弟仲良く、周りの人や友達を大事にしながらいつまでも健康でいてほしいです」と将来に期待を込めています。

二重マスの文字をA～Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都府で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

お弁当

応募締切 10月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ10月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

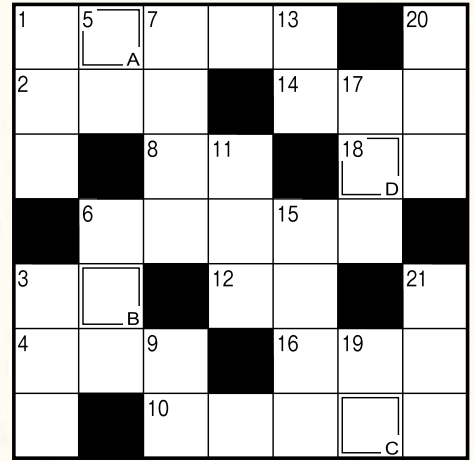
広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

9月号の答え
「ツキミザケ」



→ヨコの力ギ

- ① 巨峰やピオーネ、デラウェアなどの収穫体験ができます
- ② 竜宮城で舞う魚
- ③ 卵と鶏肉とご飯で親子——を作った
- ④ 実るほど頭(こうべ)を垂れる——かな
- ⑥ コロコロと気分が変わる人のこと
- ⑧ 無料です。代金はいりません
- ⑩ 秋の空にぼこぼここと浮かびます
- ⑫ ろうそくの炎にガラス板を近づけると付きます
- ⑭ 学校の教室に並べるもの
- ⑯ 船が停泊するときを下ろします
- ⑱ クルミが似合うげっ歯類

↓タテの力ギ

- ① 機械などのパーツのこと
- ③ オクトーバーフェスト発祥の国です
- ⑤ 中国の大きな打楽器
- ⑥ 好・始・娘・妹は——偏の漢字
- ⑦ 池の——によって、土地を増やした
- ⑨ 日本国憲法では——の下の平等が保障されています
- ⑪ 学校の運動会で踊ることもあります
- ⑬ 視聴——、円周——
- ⑮ 海水の影響で塩分を含む湖
- ⑰ 台所のこと。漢字で書くと「厨」
- ⑲ たんすやソファなどのこと
- ⑳ ノーの反対語
- ㉑ 阿寒湖のものは国の特別天然記念物

テーマ 秋の楽しみ

産直に行っておいしいブドウを買って食べるのが楽しみです。
(高水寺・K/66歳)

秋の産直はおいしいブドウが豊富に揃っていますね。色々な品種の食べ比べも楽しみです。

秋は色々な物が実って楽しいです。特にリンゴが大好きです。でも、冬に向かって色々な物を全て片付けるのは大変です。もう少しだけ暖かい土地だったらいいのねえ～。
(藤沢・Y/72歳)

私もリンゴが大好きです。涼しくなってくると夏の暑さが恋しくなりますね…。

栗を拾い、そして料理します。手間は掛かりますが、栗ご飯や渋皮煮などを作ります。これからますますおいしいブドウ、リンゴ、梨、秋野菜、キノコなどが出ますので食べる楽しみが！自然の恵みと農家の皆さんに感謝です！
(小屋敷・M/57歳)

手を掛けて調理する分おいしさ

もひとしおですね。自然や人に感謝しておいしくいただきます！

紅葉狩り。山全体が燃えるような赤に染まり、水面に写って錦絵のような景観。日本に生まれれてよかった。
(又兵衛新田・T/62歳)

四季の移り変わりを感じると、日本で暮らすことの喜びをあらためて実感します。

皆様からのお便りをご紹介します！



理事会報告

臨時理事会が9月15日、紫波支所で開かれた次の議案について決議されました。

【議決事項】

1 令和4年度産米概算金の決定

9月定例理事会が9月30日、紫波支所で開かれた次の議案について決議されました。

【議決事項】

1 金融取引諸手数料徴収基準の一部改定

2 育児休業等に関する規程の改正

3 介護休業等に関する規程の改正

4 「組織基盤活性化方針」の制定





役員手帳

農業経営をサポート 出向く活動で関係構築

常務理事 菅原 弘範

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しがまだ見えない状況の中ではありますが、経済社会活動は徐々に再開してきており、世界経済に遅れつつも国内の経済活動もコロナ前の水準に戻りつつあります。しかしながら、ウクライナ危機をはじめ資源エネルギー価格の上昇、急激な経済活動に伴う世界インフレの加速による円安が家計をひっ迫し、特に農業経営にとって農業資材の高騰など甚大なマイナスの影響を受けている状況となっています。

政府は、ガソリンなどの石油製品価格抑制策の延長などの対策を進めておりますが、円安進行は加速しており予断を許さない状況となっております。このことは、日米政策金利差も要因として挙げられますが、海外先進国と比較して物価上昇率に対する賃金上昇率が極めて低いため経済成長基盤が弱く、外部要因に振り回されやすいためです。しかしながら、日銀は低金利政策を継続せざるを得ない状況下であり、信用事業の厳しい環境はしばらく続くものと考えております。

そうした中で、当JAの信用事業においては、昨年度から法人などの営農組織や認定農業者などを中心に各支所の融資担当及び本所担当、JAの上部組織である県信連の担当にもご協力をいただき訪問し、組合員の方々との良好な関係を構築するとともに農業融資の相談などを行っております。このほか、農機具販売店なども訪問して融資のご案内などの情報交換をさせていただいており、今後とも組合員の皆様のお役に立てるように取り組んでまいりたいと思います。

INFORMATION

矢巾カントリーエレベーター見学会 参加者募集中!


JAでは、カントリーエレベーターと倉庫の見学会を下記の日程で行います。普段見ることのない施設内部見学に、ぜひお越しください。

- 日時** 令和4年11月12日(土)
午前9時30分～午前11時30分
- 場所** 矢巾カントリーエレベーター [矢巾町大字間野々第4地割89] 現地集合
- 募集人数** 組合員およびその家族10組20名程度
※未就学児(小学生未満)参加不可
- 応募方法** JAホームページの申込フォームより
お申し込みください
- 参加費** 無料 **募集締切** 令和4年11月4日(金)




主な内容

- お米の販売戦略についてのおはなし
- カントリーエレベーター内部の見学と
屋上(ビル6階相当)からの管内展望
- 倉庫の内部の見学
- 「銀河のしずく」バックご飯のプレゼント



お問い合わせ 企画管理部 企画課 ☎673-7480

各地域秋まつりのご案内


- 紫波** 第37回紫波町産業まつり
JAいわて中央「食」と「農」の祭典
令和4年10月22日(土) 午前10時～午後5時
23日(日) 午前9時～午後4時
【場所】サン・ビレッジ紫波
 - 矢巾** 令和4年度 矢巾町秋の「や市」
令和4年10月15日(土) 午前9時～午後3時
【場所】町民センター特設会場(役場庁舎前駐車場)
 - 盛岡** 第36回盛岡市農業まつり
令和4年10月29日(土)・30日(日) 午前10時～午後3時
【場所】もりおか歴史文化館前広場・中津川河川敷など
- 

年金のお受け取りはJAで! 年金指定替えキャンペーン

実施期間 令和4年9月1日(木)～12月30日(金)
実施期間中に、すでに他金融機関でお受け取りの年金をJAいわて中央の口座にご変更いただいたお客様もれなく全員に、下記のプレゼントを贈呈いたします。

★ ★ ★ ★
プレゼント

アズユーライクをプレゼント!
(2,800円相当のカatalogギフト)



※同封されている応募はがきには有効期限がございますのでご注意ください※カatalogはイメージです

詳しくはお近くのJA支所窓口・渉外担当者までお問い合わせください



新鮮食材で
楽しくクッキング
— This month's recipe —
今月のレシピ
138杯目



手羽元とサツマイモの甘辛煮

材料 (4人分)

- 手羽元 8本
- サツマイモ 中2本
- ショウガ(スライス) 10g
- ごま油 大さじ1

【煮汁】

- 水 600ml
- しょうゆ 100ml
- 料理酒 100ml
- 砂糖 大さじ6と2/3
- みりん 大さじ3と1/3
- 酢 大さじ3と1/3
- コチュジャン 大さじ1

作り方

- ① サツマイモは厚めに皮をむいて乱切りにし、水にさらしておく
- ② 深めのフライパンにごま油を熱し、手羽元、サツマイモ、ショウガを入れ手羽元にしっかりと焼き色を付ける
- ③ ②のフライパンに煮汁の材料を全て入れ、キッチンペーパーで落としふたをして中火で25分煮込む
- ④ 器に盛り付け、カイワレなどお好みの青み(材料外)をあしらひ出来上がり

編集後記



実りの秋を迎えたJA管内。生産者の皆さんが丹精込めて栽培してきた農産物が無事に収穫を迎えてほっとする気持ちと、食材が店頭並び、それを味わうことへの楽しみな気持ちで胸がいっぱいになります。今月は各地域で秋まつりも開催予定ですので、皆さんも収穫の喜びを感じながら秋の味覚をぜひたくさん味わってください!



3年ぶりとなった対面での宣伝販売会。JAいわて中央の魅力を伝え続けてきた取り組みの成果を実感しつつ、遠く離れていても産地を応援してくれる人たちがいるということに心強さを感じました。ソーシャルディスタンスを保つことが求められる世の中ではありますが、心の繋がりがやご縁は末永く大切にしたいものです。